

次期計画検討部会（第3回）における  
主な意見等について

- (1) 支援団体がいくら頑張っても、プレーヤーが本気を出さなければ何も出てこない
- (2) 産学官金のプロジェクトは「一体誰が何をやるのか」、「誰が何をやるのか」というあたりを論議していかなければいけない
- (3) 取り組みたいことに無上の情熱を持って頑張る企業をどのようにサポートして押し上げるかということしかない
- (4) 組織作りよりも、何に具体的に組み込んでいくのかということが優先ではないか
- (5) いつまでにどのようなものを出すのか、時間と目標を持たないと進まない
- (6) 信州の発酵技術に対し、AIやIoTを使って、次世代につなげていく、さらによい条件を見つけ出す視点が必要
- (7) 売れすぎても材料の生産が間に合わないということでは論議が中途半端
- (8) 農業、観光、健康福祉など、今まであまり横の関係をとってこなかった分野との関係を強くしていかないうまくいかない
- (9) データ取りは企業にとって大変なコストになるため、「AI＝データ取り」からまずスタートさせることに期待
- (10) サクセスストーリーを早めに作り、企業に見せて、取組を促進するというの大きな方向性
- (11) 新しい産業を創っていくことは、新しい技術によって新しい仕組みを作ることになるため、今までの産業育成とは少し違ったサポートが必要
- (12) シニア層の持っている知見を、いかにこの国の財産として再発掘するかという辺りを、視点を変えて政策を打つべき